構造物の持続可能な発展に向けた技術フォーラム2026

これから求められる構造物の補修・補強技術

日時 2027（令和9）年 1月 25日（月）
13：15 ～ 16：45（開場12：45）

会場 主婦会館プラザエフ（7階カトレア）

〒102-0085 東京都千代田区六番町15番地 TEL 03-3265-8111
JR「四ツ谷駅」徒歩1分 東京メトロ「四ツ谷駅」徒歩3分

主催 中日本高速技術マーケティング株式会社

定員 150名

参加費無料

CPD単位取得対象

橋梁をはじめとする構造物の持続可能な発展に向けた技術について幅広く情報交換や議論を行い、技術への理解を深めるとともに、今後の技術の方向性について考えていきます。

プログラム

司会 中日本高速技術マーケティング（株）技術開発部部長 **牧田通**

13:15~13:25（10分）	●主催者挨拶 中日本高速技術マーケティング（株）代表取締役社長 **忽那幸浩**
13:25~14:05（40分）	●基調講演 **「(仮)コンクリート構造物の補修・補強技術について」** 京都大学名誉教授 当社シニアアドバイザー **宮川豊章氏**
14:05~14:10（5分）	●パネルディスカッション進行等説明 **牧田通**
14:10~14:30（20分）	●話題提供① **「(仮)鉄道橋の維持管理の現状」** JR東日本コンサルタンツ（株）常務取締役 **野澤伸一郎氏**
14:30~14:50（20分）	●話題提供② **「(仮)構造物に関わる付加価値生産性の評価」** 東京理科大学創域理工学部社会基盤工学科教授 **加藤佳孝氏**
14:50~15:10（20分）	●話題提供③ **「(仮)高速道路橋の現状について」** 中日本高速道路（株） 保全企画本部保全課課長 **若林大氏**
15:10~15:25（15分）	●休憩
15:25~16:40（75分）	●パネルディスカッション **「これから求められる構造物の補修・補強技術」** モデレーター 中日本高速技術マーケティング（株）技師長 **上東泰** パネリスト **宮川豊章氏、野澤伸一郎氏、加藤佳孝氏、若林大氏**
16:40~16:45（5分）	●パネルディスカッション総括および閉会挨拶 **上東泰**

※16:45~16:55で土木学会CPD認定対象受講証明書発行

◇ **お申込み方法：** 当社WEBページ内フォーラムお知らせページにある申込フォームよりお申込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。キャンセル期限：2027/1/15（金）17:00　お申込み後に参加できない場合、より多くの方にご参加いただけるよう、キャンセルの連絡をお願いいたします。なお、キャンセルのお知らせがなくご参加いただけなかった場合、会場費や運営に関わる費用の一部について、ご負担をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承ください。

フォーラムお知らせページ、申込フォーム： https://www.c-nexco-tech.co.jp/news/?id=62

◇ **CPD認定に関して：** 本フォーラムは土木学会のCPD単位取得対象のプログラムです。

1.参加申込フォームの「CPDプログラム受講証明書の発行について」で「希望する」を選択してください。
2.当社WEBページ掲載の「CPD受講証明書」を印刷し、受付番号および氏名を記入のうえ、当日受付時にご提出ください。
3.フォーラム終了後、証明印を押印したCPD受講証明書を返却いたします。

【お問い合わせ先】中日本高速技術マーケティング株式会社　mkg_info_0909@c-nexco-tech.co.jp

スマートフォンからお申込みいただけます➤

技術フォーラム開催にあたって

本フォーラムは、関係者が幅広く情報共有および意見交換を行う場を提供し、設定したテーマに関する理解や認識を深め、今後について考えていただくことを目的として開催するものです。

なお、当社はNEXCO中日本グループの一員として、以下に示す構造物等の補修・補強に関する各種事業を行っていますが、本日を機に当社の事業や技術についてご理解いただき、今後、商品のご採用や共同開発、業務連携などさまざまな形で皆様との関係を深めることができればと考えております。

①　商品販売事業の例

現場のニーズに応え、コスト、耐久性、作業性等を考慮した商品を取り扱っています。
多くの現場で採用実績を有する信頼性の高い２商品の紹介です。

PD工法

高耐久性・施工効率・早期交通開放を兼ね備えた断面修復工法

RC床版上面断面修復工法





補修ケースに応じた材料選択が可能で、短時間の施工で優れた耐久性

※NEXCO 構造物施工管理要領　適合

ターマラスト

点検作業時等に確認された「さび」にその場で塗布できる塗料

簡易さび止め塗料





刷毛やスプレーの一液一層塗りで、5年間防錆効果を維持

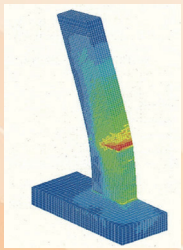
※NEXCO 管路工事施工管理要領 適合

②　コンサルティング事業の例

豊富な経験を有する専門技術者が、橋梁を中心とした構造物路の維持管理等に関する課題解決をサポートしています。

既設橋の耐震性能に関する技術資料作成





高速道路で多い形状の橋脚について、実験・解析により耐荷性能（耐震性）を検証（耐震補強事業計画に活用）

長野道　岡谷高架橋 改良工事技術支援





PCグラウト再注入や超高強度繊維補強セメント系複合材料による補強を適切に行うための施工方法や現場適用にあたっての支援（技術検討会で審議）

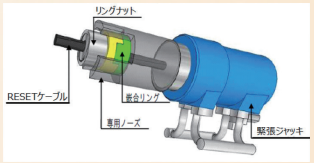
③　技術開発事業の例

大学や民間企業等が有する技術やノウハウと当社の知見を融合し、現場ニーズに応じた構造物等の補修・補強材料や工法の開発に取り組んでいます。

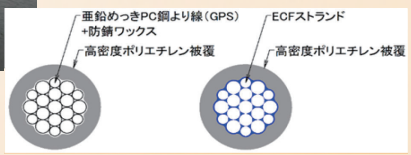
外ケーブル補強工法（RE-SETケーブルシステム）



コンパクトな定着設備



多重防錆によるPC鋼材の高耐久性化

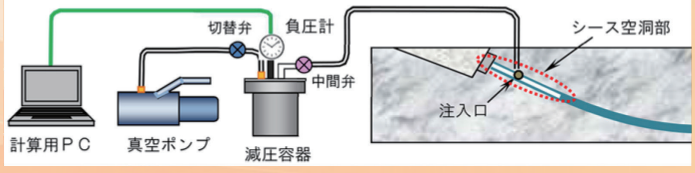


左：亜鉛めっきPC鋼材＋防錆ワックス＋PE被覆（三重防食）
右：ECFストランド＋PE被覆（二重防食）

PCグラウト再注入工法（PC-Rev工法）



グラウトの充填不足



コンクリート削孔は1回かつ小径（1～2cm)で、グラウト再注入は自動施工システム（省力化、品質確保）